



エコアクション21
認証・登録番号0008044

エコアクション21

2014年度 環境活動レポート



対象期間:2013年10月～2014年9月

グローバル建設 株式会社

発行日:2014年10月1日

改訂日:2015年3月12日

目次



●環境方針(Plan)	1
基本理念/行動指針		
●会社概要	2
●環境負荷の実績(Do)	3~6
●環境活動の計画と評価(Chek)	7
●代表者による見直し評価(Act).....		8
環境関連法規の評価/代表者による全体の評価と見直し		

▼環境活動のPDCAサイクル図



環境方針

■ 基本理念

建設業は自然環境と深いかかわりのなかで企業活動がなされ、事業を運営する上で資源エネルギーを消費し、また産業廃棄物の発生量、建設副産物の削減とリサイクルの維持が社会使命となっている。この為、次の方針を定め自主的改善を設定し、継続的に実行する。

■ 行動指針

- 1.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
 - 2.工事を計画する上で環境配慮型の工事を施工する。
 - 3.環境汚染の防止、廃棄物発生の安全な処理、処分を考慮した建設工事を行なう。
 - 4.3R運動を推進する。(Reduce/発生抑制・Reuse/再利用・Recycle/再資源化)
 - 5.二酸化炭素排出量を削減する。(電力、化石燃料の使用量削減)
 - 6.使用水量を削減する。
 - 7.原材料及び事務用品のグリーン購入を推進する。
- 上記の方針を全社員に周知徹底し、環境保全の意識向上に努める。



制定日:2011年10月1日

グローバル建設株式会社
代表取締役 戸田俊治



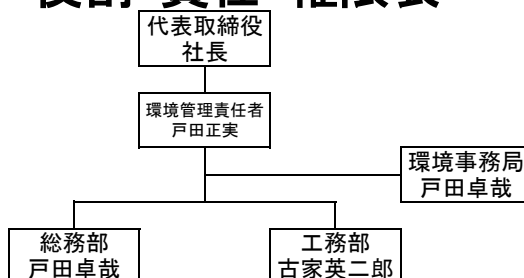
■ 組織の概要

会社名	グローバル建設 株式会社		
代表取締役	戸田 俊治		
設立	平成14年11月18日		
資本金	3,000万円		
所在地	本社	〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷2287番地 TEL:079-670-5255 FAX:079-670-5277	
	資材倉庫	〒679-3323 兵庫県朝来市生野町竹原野字ケンスイ401番地	
管理責任者 及び責任者	責任者	戸田 正実	
	担当者	戸田 卓哉	
事業内容 (総合建設業)	設立	平成14年11月18日	
	許可番号	兵庫県知事許可(特-24) 第601049号	
	許可年月日	平成24年10月5日	
	建設業種類	土木工事業、建築、とび・土工、鋼構造物、舗装、水道施設の工事	
産業廃棄物 収集運搬業	許可番号	兵庫県知事許可 第02807105273号	
	許可年月日	平成25年7月31日	
	有効期限	平成30年7月30日	
事業の範囲	事業区分	収集運搬業(積替え・保管を含まない)	
	取扱種類	1.木くず、2.がれき類 以上2種類	
許可運搬車両	車種	4tダンプ・2台 3tダンプ・2台	
	受託した産業廃棄物の処理量	11トン	
	廃棄物処理料金	2,000円	
事業の規模 事業年度	完成工事高	6億円(25年度実績)	
	従業員数	22名	
	期首	10月1日	
	期末	9月30日	

■ 認証・登録の対象範囲

登録組織名	グローバル建設 株式会社
活動	総合建設業 産業廃棄物収集運搬業
対象事業所	本社、資材倉庫

■ 実施体制及び・役割・責任・権限表



■ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年度	2013年度 基準年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	237,800	187,065	185,459	
電力	kwh	33,151	28,123	23,938	
ガソリン	L	17,658	14,159	14,296	
軽油	L	62,185	45,808	47,846	
灯油	L	971	1,279	1,341	
液化石油ガス	kg	5,420	3,680	4,190	
一般廃棄物	トン	0.14	0.14	0.13	
産業廃棄物	トン	4,596	3,643	6,438	
総排水量	m ³	96	91	79	
化学物質	kg	使用なし	使用なし	使用なし	

■ 環境目標及びその実績(1)中長期目標

項目		2013年度 基準年度	2014年度	2015年度	2016年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2 対基準	187,065	185,194 △1%	183,342 △1%	181,508 △1%
電力使用量削減	kWh	28,123	27,841	27,562	27,286
	kg-co2 対基準	12,655	12,528 △1%	12,403 △1%	12,279 △1%
ガソリン 使用量削減	L	14,159	14,017	13,876	13,737
	kg-CO2 対基準	32,872	32,543 △1%	32,215 △1%	31,893 △1%
軽油 使用量削減	L	45,808	45,349	44,895	44,446
	kg-CO2 対基準	120,216	119,011 △1%	117,820 △1%	116,641 △1%
灯油 使用量削減	L	1,279	1,266	1,253	1,240
	kg-CO2 対基準	3,187	3,155 △1%	3,122 △1%	3,090 △1%
液化石油ガス 使用量削減	kg	3,680	3,643	3,606	3,569
	kg-CO2 対基準	11,048	10,937 △1%	10,826 △1%	10,715 △1%
一般廃棄物削減	トン	0.14	0.13	0.12	0.11
	対基準		△1%	△1%	△1%
産業廃棄物削減	トン	3,643	3,606	3,569	3,533
	対基準		△1%	△1%	△1%
III.水使用量削減	m ³ 対基準	91	90 △1%	89 △1%	88 △1%
IV.グリーン購入	対基準	30%	31%	32%	33%
※ VI. 環境配慮型 工事	対基準	ほぼ100%	ほぼ100%	ほぼ100%	ほぼ100%

※2014年度以降の目標値は、2013年度実績を元に設定した。

※△・・・対前年度比の削減代を示す。

※産業廃棄物収集運搬における二酸化炭素排出量含む。

※電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2011年度関西電力公表の0.450kg-CO2/kWhを使用。

※環境配慮型工事とは排出ガス基準値を満たした指定機械を使用していることを示す。

(2)運用期間(2013年10月～2014年9月)の実績

年度 項目	年	運用期間における実績				
		2012年10月 -2013年9月	(2014年10月～9月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2 対基準	187,065	185,194 △1%	185,459 △0.9%	99.86%	△
電力 使用量削減	kWh kg-CO2 対基準	28,123 12,655	27,841 12,528 △1%	23,938 10,772 △14.9%	116%	○
※ ガソリン 使用量削減	L kg-CO2 対基準	14,159 32,872	14,017 32,543 △1%	14,296 33,191 +1.0%	98%	×
※ 軽油 使用量削減	L kg-CO2 対基準	45,808 120,216	45,349 119,011 △1%	47,846 125,564 +4.4%	95%	×
灯油 使用量削減	L kg-CO2 対基準	1,279 3,187	1,266 3,155 △1%	1,341 3,342 +4.8%	94%	×
液化石油ガス 使用量削減	kg kg-CO2 対基準	3,680 11,048	3,643 10,937 △1%	4,190 12,580 +13.9%	87%	×
一般廃棄物 削減	トン 対基準	0.14	0.13 △1%	0.13 △7.1%	100%	○
産業廃棄物 削減	トン 対基準	3,643	3,606 △1%	6,438 +76.7%	56%	×
Ⅲ.水使用量削減	³ m 対基準	91	90 △1%	79 △13.2%	114%	○
Ⅳ.グリーン購入	対基準	30%	31%	19%	61%	×
Ⅵ. 環境配慮型 工事	対基準	ほぼ 100%	ほぼ 100%	ほぼ 100%	ほぼ 100%	○

注)評価欄にて、○:達成、×:未達成、△:やや未達成(98%～100%未満)

注)※ガソリン、軽油は使用量は業務量に比例するため、次年度より売上高当たりの使用量の削減と変更する。



<電球の取り外し>



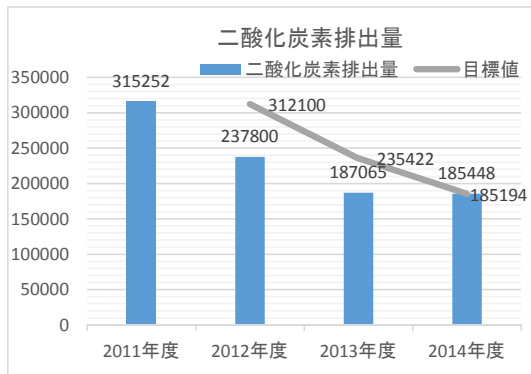
<就労時>



<昼休息時>

- 一つの電気機器に二つある電球を一つにすることで、身近な箇所から電気使用量削減を実行しました。また昼休息時や不要箇所の消灯を行い、節電を心掛けています。

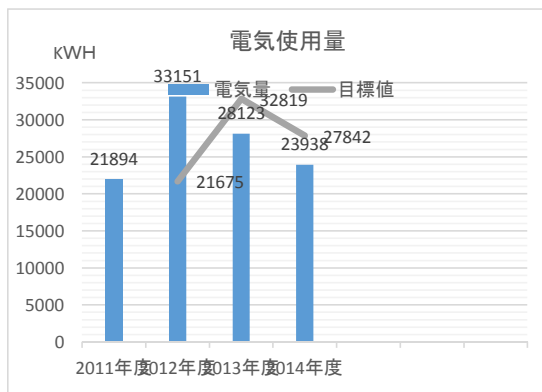
■ 過去の実績と今年度の実績



二酸化炭素排出量

総量【kg-CO2】

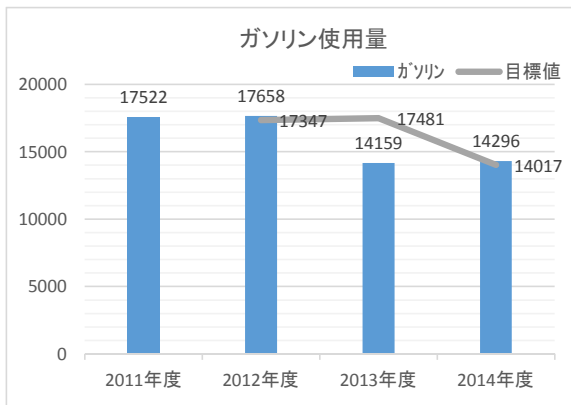
今年度こそ目標値をやや未達成に終わったが、取組み当初から比較すると排出量は右肩下がりである。



電気使用量

総量【kWh】

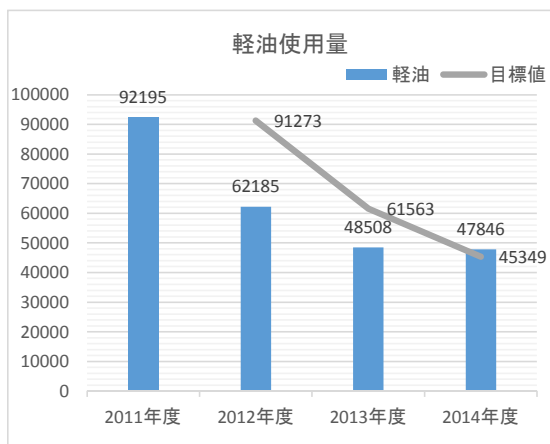
事務所移転に伴い、一時電気の使用量が極端に上昇したが、翌年からは着実に目標値を達成。



ガソリン使用量

総量【L】

目標値を達成できなかった。売上に比例して使用量も増えた。売上高当たりの使用量の削減に変更する。

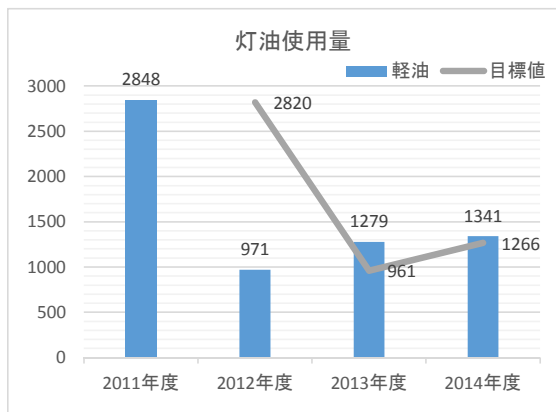


軽油使用量

総量【L】

目標値を達成できなかった。ガソリン同様に売上に比例して使用量が増えた。売上高当たりの削減に変更する。

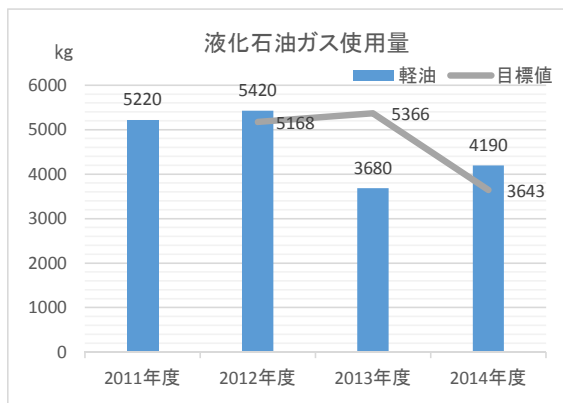
過去の実績と今年度の実績



灯油使用量

総量【L】

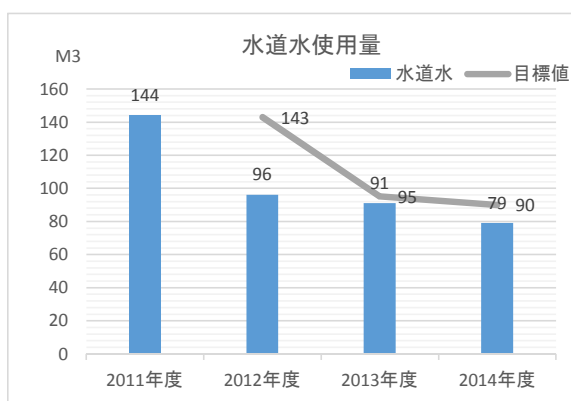
目標値を達成できなかった。
設定温度を小まめに変更し、
無駄をなくしていく。



液化石油ガス使用量

総量【kg】

目標値を達成できなかった。
売上に比例して、使用量が増えた。



水道水使用量

総量【m3】

目標値を達成できた。
小まめな節水活動の結果である。
以後も継続していきたい。

■ 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	猛暑のため、冷房温度の適正化に取り組みなかった。 更なる意識教育が必要である。
・不要照明の消灯	◎	不要照明の消灯を徹底できた。
・熱の出入の調整	○	熱調節があまりできなかった。
・季節に応じた採光	◎	ブラインド調節によって自然光を採光できた。
今後の方向		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・不要なアイドリングストップ	○	エコドライブを実行できた。
・急加速・急停車	◎	実行できた。
・移動コースの効率化	◎	効率的なコースを選択し、移動できた。
今後の方向		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
・不要なアイドリングストップ	○	エコドライブを実行できた。
・急加速・急停車の防止防止	◎	意識向上により防止できた。
・移動コースの効率化	○	効率的なコースを選択し、移動できた。
今後の方向		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
灯油使用量の削減 (目標未達成)		
・ウォームビズ活動の推奨	◎	各人がウォームビズを行っている。
今後の方向		節減暖房の推進
液化石油ガス使用量の削減 (目標未達成)		
・不必要時の消化	○	更なる改善を行なう。
今後の方向		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・コピー用紙の両面使用	◎	教育により取り組みの推進ができた。
・不要裏紙の再使用	◎	分別箱や呼びかけにより取組みを実施する。
今後の方向		更なる意識向上に努める。
産業廃棄物の削減 (目標未達成)		
・法令遵守による産廃処理	○	法令遵守によって管理できた。
・建設副産物の適正処理	○	適正に処理することができた。
今後の方向		更なる管理を徹底する。
水道水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できた。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
今後の方向		意識を更に高め、できる限りの削減に努める
グリーン購入の推進 (目標未達成)		
・再生紙をコピー用紙等の使用推進	○	再生紙のコピー用紙を購入できた。
・エコマーク商品の優先的購入	○	前年に対して意識の向上が見られた。
今後の方向		可能な限り、グリーン購の推進を行なう。
環境配慮型工事 (目標達成)		
・環境配慮型工事	◎	排ガス規制機械を使用できた。
今後の方向		環境配慮の提案を確実にこなう。



〈マイボトル持参〉



〈ウォームビズ〉



■ 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求される事項	評価
廃棄物処理法	収集運搬、処分業者との契約、マニフェスト伝票の保管	遵守
騒音・振動規制法	特定建設業の届出	遵守
道路交通法	道路使用許可申請書、道路占有許可申請書	遵守
消防法	消防設備の定期点検	遵守
建設業法	許可の更新、変更届	遵守
建設リサイクル法	分解解体等の届出	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、は過去3年間ありませんでした。

□ 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の活動を始めて3年が経過した。身近な活動から始めるという方針の下、全従業員でエコ活動を行った。しかし、工事の売上が増加した事と比例し、ガソリン・軽油・液化石油ガスの使用量が増加した。それに伴い、二酸化炭素排出量の数量も増加した。その一方で、前年度同様にエコ活動を意識した結果、電気・水の使用量は削減できた。各人がクールビズ・ウォームビズ・残業等の無駄を省き、小まめな行動の積み重ねを行った成果が数字に反映された。今後も環境方針に基づいた理念と行動で、責任ある事業活動を展開し、より良い地域社会と地球環境の保全に貢献していきたい。

平成 26 年 9 月 30 日

グローバル建設株式会社
 代表取締役 戸田俊治



<燃料給油カード>



<クリスピット清掃活動>



<環境教育実施状況>